

介護保険条例の一部を改正する条例を賛成多数により可決

介護保険条例の一部を改正する条例は、平成21年度から平成23年度までの第4期計画期間における第1号被保険者にかかる介護保険料の所得段階を現行の8段階から11段階に改め、各段階の保険料を定めるというものです。

厚生委員会では、介護給付費準備基金の平成20年度末の残高が、約4億3,000万円あり、そのうち3億5,000万円は第4期の歳入に組み入れ、8,000万円は、緊急時ショートステイ等の第4期における新たな事業の財源としたいとの説明がありました。

これに対し、委員より「8,000万円は、保険料の上昇を抑える、あるいは、引き下げるために使うものではないか。給付が増えるとは言いが、一方で保険料を負担する方が増えていることも考慮すべき」との指摘や、「市の責任として安定経営は前提となるが、現在のような経済情勢の中、値上げをするからには、今、求められているサービスに対応していくよう事業を構築

していく必要がある」との見解が示されました。

市長からは、「今回の改定については、介護保険運営協議会における慎重な審議を踏まえ、提案させていただいた。基金の一定額を取り崩し、保険料の急激な上昇は抑えている。介護保険制度の課題については、今後とも市長会を通じて国に対して要望を続けていきたい」との答弁がありました。

本条例案は、委員会、本会議ともに賛成多数により可決しました。

図書館の開館時間を9時30分に公民館・図書館の改修も実施

国分寺市立図書館条例の一部を改正する条例は、図書館の開館時間について、従来は、午前10時から午後5時まで（本多図書館は、午後8時まで）となっていました。これを午前9時30分からに改正し、市民サービスの向上を図るというものです。

同条例については、文教委員会、本会議ともに、全員賛成により可決しました。

これまで、図書館の開館日や開館時間の拡大については、図書館運営協議会において議論されてきており、高齢者や地域で活動している方等から、朝10時前の早い時間に利用したいという意見があったこと。また、図書館の利用者懇談会でもそうした要望があったこと。さらに、日曜日に利用者が開館前に待っている状況があり、この改善を図る必要があったことを踏まえ、検討した結果、30分早めた形で開館するというものです。

耐震工事・空調等の大規模改修補正予算を可決

一方、図書館・公民館については、「一般会計補正予算（第10号）」に改修関連予算が計上されており、補正予算審査特別委員会、本会議ともに、全員賛成で可決しました。

その内容は、本多・並木については空調等の工事、恋ヶ窪・光・もとまちについては、耐震工事を行うというものです。工事に当たっては、少なくとも5館の内、2館は市民活動に供することができる状況をつくりたいと説明されています。

平成21年第1回定例会 代表質問質問事項・答弁の要旨

2月20日に市長から述べられた施政方針に対し、22日に各党派等を代表して代表質問が行われ、その質問事項及び答弁の要旨について、党派等がまとめたものを、一定のスペース内で様式は自由に掲載しています。

日本共産党国分寺市議団

川合 洋行

「雇用、くらし、福祉の充実を」

問) 今の経済情勢で市民生活は厳しい。市の来年度予算は、「雇用、くらし、福祉の充実」に焦点を当てることを求める。

市長) 現在の経済状況を考えれば当然の意見と受け止める。

●「構造改革」国分寺版の見直しを

問) 「構造改革」で、労働者を法的に守る仕組みが壊され、非正規雇用が急増した。構造改革推進論者の経済学者が、「新自由主義、グローバル資本主義を信じて構造改革の片棒を担ってきたが、もたらしたものは、今回の金融危機であり環境破壊であり、急速な貧困層の増大であった」とごんげしている。

星野市政も、市役所の正規職員を減らし、非正規の嘱託や臨時職員に置き換えた。施政方針は「アウトソーシング基本方針」をつくり、さらに民営化を進めるとしている。破綻が明らかな構造改革路線は改めよ。

市長) 現在の経済危機がアメリカ流の資本主義がもたらしたという人たちがいるが、全部がそうだとは思わないが、大方当たっていると考える。職員削減は、退職不補充でやってきた。すぐに市の仕事なくなるわけではないので、嘱託、臨時職員にお任せする状況になった。公共部門の民営化で、適切な競争が行われれば、サービスの向上と財政負担の軽減がもたらされると考える。

●保育園増設を怠った責任は重大

問) 市立保育園の民営化が「私の選挙公約」と「公設・民営」化、ひかり保育園は「民設・民営」にするとしている。いま、保育行政で必要なことは、認可保育園を増やすことだ。今年も200人を越える子どもが保育園に入れない。

市長) 確かに待機児が多い。今後とも待機児の解消に取り組む。

●雇用拡大、非正規職員の処遇改善を

問) 国、都の雇用創設資金を活用しての雇用拡大も具体化していない。4月実施で保育や介護の人材確保、雇用拡大に積極的に取り組め。

市長) 提案は、今後の研究課題としたい。

問) 嘱託職員は働き盛りの若年層が大多数になっているにもかかわらず、一年雇用で最長4回の更新で打ち切り、昇給もボーナスもない。経験者採用の対象外で、将来正規職員になれる展望もない。臨時職員の時給も三多摩最低だ。処遇改善を行え。

市長) 報酬や賃金、休暇など制度全体の抜本の見直しをしたい。臨時職員の賃金は800円を830円にする。

●事業・生活緊急融資の改善を

問) くらしに対する取り組みの努力が足りない。小口事業資金の緊急融資の4月以降継続を新年度予算に盛り込むべきだ。併せて、返済期間の延長を行い、借りやすくすべきだ。

市長) 緊急なので3月31日までである。

(その後、補正予算で実施)

問) 生活資金貸付制度も無保証人制度に改善せよ。

市長) 社会福祉協議会と協議する。

(その後、補正予算で実施)

公明党

さの 久美子

難局に立ちむかうには 実行力とスピードで!

問) 定額給付金、子育て応援特別手当の支給事務は一日も早くかつ円滑に進めるよう要望する市民への的確な情報提供が必要。準備状況は。

市長) 基本方針に基づき、準備段階中である。

問) 国分寺市緊急生活安全対策の中間的なまとめと市内事業者活性化への具体的な取組みは。

市長) 緊急融資、修繕工事等概ね実施できた。今後は緊急融資利子補給の全額補助の継続、予定工事の前倒し、発注分割化等を計画している。

問) 待機児童解消は重要。保育園の低年齢児定員弾力化施策で何人入園可能か。他の施策は。

市長) 12名から15名程度。恋ヶ窪保育園の暫定園舎を活用、年度内の開園を目指したい。

問) 高齢者施設サービスの充実、緊急ショートステイの創設、認知症等の課題解決の具体策は。

市長) 21・22年度に施設開設予定。緊急ショートステイは早期実現をはかりたい。認知症支援策は医療と介護の連携強化・家族の負担軽減・認知症サポーターの地域活動を検討していく。

問) 妊婦健康診査14回公費負担は評価したい。

市長) 安心して子どもを産み育てられる環境をつくりたい思いで対応を図った。

問) 特定健診や後期高齢者医療健診の近隣自治体との相互乗り入れを早期に図るべきである。

市長) まず、国立市から交渉開始。21年度、近隣3市乗り入れの早期実施を目的に努力する。

次ページにつづく▶